



世界農業遺産写真コンテスト (秋季・冬季)作品募集

推進協議会では、世界農業遺産に認定された国東半島宇佐地域(国東市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、姫島村、日出町)で秋季・冬季に撮影した写真を募集します。ふるって応募ください。



【応募条件】

国東半島宇佐地域で秋季・冬季に撮影された写真
テーマ【農林水産業の営み(しいたけ栽培・水田農業等)、
すばらしい景観、歴史文化(祭事・食文化等)、生物多様性】

【応募規定】 四切サイズ(写真裏に応募票を貼付)

【応募期限】 平成26年2月28日(当日消印有効)

【各賞】 推進協議会長賞1点、優秀賞2点、佳作3点

【問合せ・応募先】

〒870-8501 大分市大手町3-1-1 大分県農林水産部
農村整備計画課「平成25年度世界農業遺産写真コンテスト」係
☎097-506-3713 FAX097-506-1763

※国東市ホームページでも紹介しています

国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会 今後の取り組み(概要)

パネルディスカッションの最後には、協議会副会長(関連6市町村長)を代表して、三河市長が今後の取り組みについて報告しました。

1. クヌギ林の保全活動 鳥獣被害対策
2. GIAHS(ジアス)サイト間の交流促進 阿蘇ジアス等
3. 啓発活動
写真コンテスト、ポスター等
農業文化公園での学習コーナー等の整備
4. ブランド化・情報発信
乾しいたけ、坐来おおいた(東京銀座)の活用
認証の検討、ホームページ(英語)での発信
5. 研究
農林水産研究センターと大学との連携

シンボルマーク発表

国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会の林会長と広瀬知事が除幕を行い、シンボルマークを発表しました。調和と循環を表す円の中にクヌギの葉(濃い緑色)、ため池群(水色)、棚田(黄緑色とツワブキ色)が連なり、心が安らぐ美しい風景をイメージしています。日本グラフィックデザイナー協会への公募で、387点の中から選ばれました。



広瀬 勝貞 知事(左) と 林 浩昭 会長